

安定エフェクター細胞株を用いたADCC活性測定

安定エフェクター細胞株を用いたADCC活性測定をはじめました。

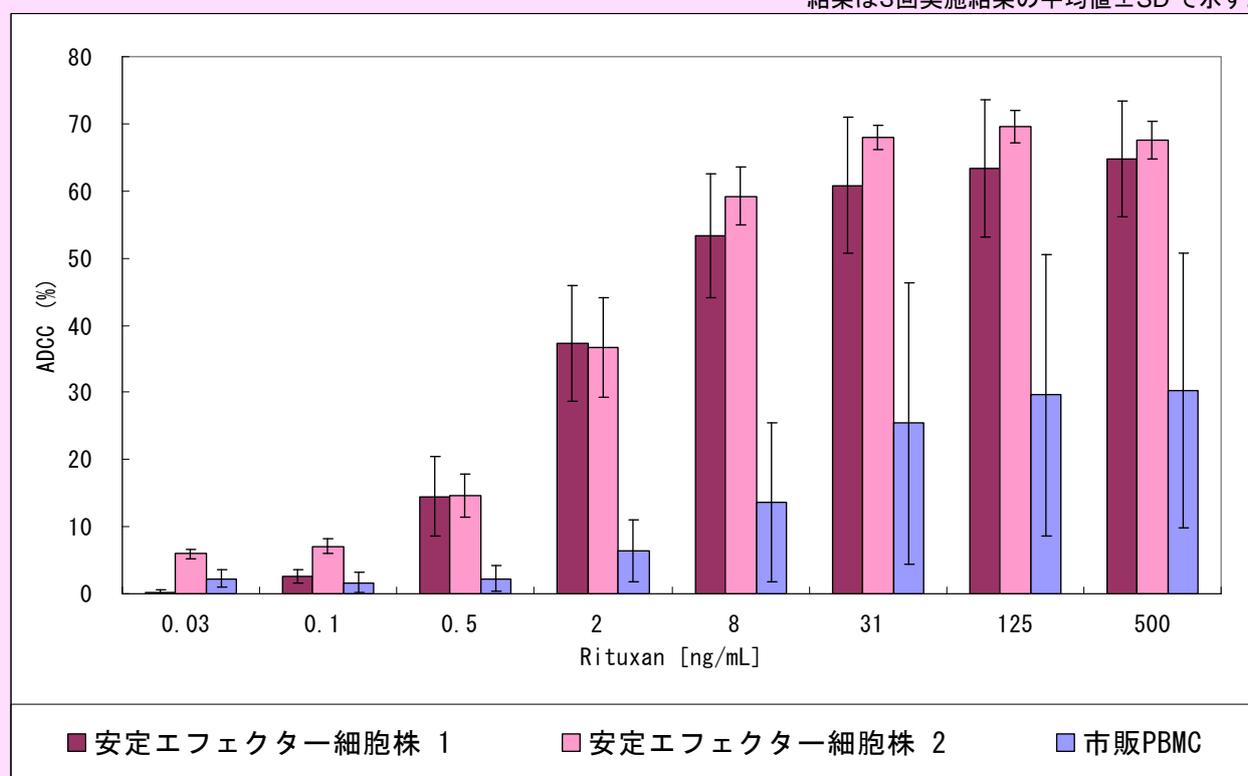
ポイント 『低コスト』 『高再現性』 『高感度』

- ◆ 安定した形質を有する細胞であるため、再現性のよいデータが得られます。
- ◆ 従来のエフェクター細胞(PBMC*)を購入するよりも低価格で試験できます。
- ◆ 高い傷害活性を有するため、少ない細胞数で高感度に測定できます。

*ヒト末梢血単核球

【 ADCC活性測定例 】

結果は3回実施結果の平均値±SD を示す。



【 測定条件 】

	安定エフェクター細胞株1及び2	市販PBMC
抗体	Rituxan (抗CD20抗体)	
測定方法	⁵¹ Cr release法	
ターゲット	WIL2-S (CD20陽性)	
エフェクター	Working cell stock を各1本使用	異なるロットを各1本使用
エフェクター/ターゲット比	1	20

試験系の構築からバリデーションまでお客様のニーズに合わせて実施します。お気軽にご相談ください。